



Vol.141      2015 February

記事

**Top News**

- 「科目等履修生制度の開設大学一覧」平成27年度版を当機構ウェブサイトに掲載  
.....1

**評価事業**

**大学機関別認証評価について**

- 平成26年度実施大学機関別認証評価に係る評価結果(案)の取りまとめ .....2

**高等専門学校機関別認証評価について**

- 平成26年度実施高等専門学校機関別認証評価に係る評価結果(案)の取りまとめ  
.....2

**法科大学院認証評価について**

- 平成26年度実施法科大学院認証評価に係る評価結果(案)の取りまとめ .....3

**調査研究**

- 韓国におけるNICの設置の可能性に関する講演会を開催  
.....4

**質保証連携**

**質保証人材育成**

- 「EAワークショップ『指標の選び方&指標信頼性・妥当性のチェックリスト』」を開催  
.....5

**諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供**

- 中国「食品安全法及び教育法」研究会(全国人民代表大会常務委員会法制工作委员会)が来訪  
.....6

- CHEA2015年次総会およびCIQG年次会合に出席  
.....7

**機構の窓**

- 会議の開催状況 .....8

**主要行事日程**

- Schedule(2月~4月) .....9

## TOP NEWS

### ○「科目等履修生制度の開設大学一覧」平成 27 年度版を当機構ウェブサイトに掲載

当機構では、科目等履修生として学習することを希望する方々が、大学の学部や大学院研究科を選ぶ際の参考となるよう、国公立大学を対象として科目等履修生制度の開設状況の調査を行い、その結果を取りまとめた上で当機構のウェブサイト

[http://www.niad.ac.jp/n\\_shuppan/kamokutou/index.html](http://www.niad.ac.jp/n_shuppan/kamokutou/index.html)  
で公表しています。

なお、原則として平成 27 年度の開設状況等について掲載するようにはしておりますが、調査の時点で平成 27 年度の計画が未定の場合には、平成 26 年度の実績を掲載しています。

# 評価事業

## 大学機関別認証評価等について

### ○平成 26 年度実施大学機関別認証評価に係る評価結果（案）の取りまとめ

平成 26 年度実施の大学機関別認証評価では、評価部会及び財務専門部会において、これまでの書面調査及び訪問調査を基に「評価結果（原案）」を作成し、その後、平成 27 年 1 月 19 日（月）開催の大学機関別認証評価委員会（第 2 回）での審議の結果、「評価結果（原案）」が「評価結果（案）」として取りまとめられました。

取りまとめられた「評価結果（案）」については、評価プロセスにおいて、その透明性と正確性を確保するため、平成 27 年 1 月 23 日付で各対象大学へ通知しました。今後は、「評価結果（案）」に対する対象大学からの意見の申立ての手続きを経た後、同委員会において、「評価結果」を確定することとなります。

確定された「評価結果」は、当該対象大学及び設置者へ通知し、文部科学大臣へ報告するとともに、「平成 26 年度大学機関別認証評価実施結果報告」として印刷物の刊行及び当機構のウェブサイトへの掲載等により、広く社会に公表することとしています。

## 高等専門学校機関別認証評価等について

### ○平成 26 年度実施高等専門学校機関別認証評価に係る評価結果（案）の取りまとめ

平成 26 年度実施の高等専門学校機関別認証評価では、評価部会及び財務専門部会において、これまでの書面調査及び訪問調査を基に「評価結果（原案）」を作成し、その後、平成 27 年 1 月 20 日（火）開催の高等専門学校機関別認証評価委員会（第 2 回）での審議の結果、「評価結果（原案）」が「評価結果（案）」として取りまとめられました。

取りまとめられた「評価結果（案）」については、評価プロセスにおいて、その透明性と正確性を確保するため、平成 27 年 1 月 27 日付で各対象高等専門学校へ通知しました。今後は、「評価結果（案）」に対する対象高等専門学校からの意見の申立ての手続きを経た後、同委員会において、「評価結果」を確定することとなります。

確定された「評価結果」は、当該対象高等専門学校及び設置者へ通知し、文部科学大臣へ報告するとともに、「平成 26 年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告」として印刷物の刊行及び当機構のウェブサイトへの掲載等により、広く社会に公表することとしています。

## 法科大学院認証評価について

### ○平成 26 年度実施法科大学院認証評価に係る評価結果（案）の取りまとめ

法科大学院認証評価委員会は、平成 27 年 1 月 28 日（水）に開催した委員会において、これまで行われた書面調査や訪問調査を基に、「評価結果（案）」を取りまとめました。

取りまとめられた「評価結果（案）」については、評価プロセスにおいて、その透明性と正確性を確保するため、平成 27 年 1 月 30 日付で対象法科大学院を置く大学へ通知しました。今後は、「評価結果（案）」に対する対象法科大学院を置く大学からの意見の申立ての手続きを経た後、同委員会において、「評価結果」を確定することとなります。

確定された「評価結果」は、対象法科大学院を置く大学へ通知し、文部科学大臣へ報告するとともに、「平成 26 年度法科大学院認証評価実施結果報告」として印刷物の刊行及び当機構のウェブサイトへの掲載等により、広く社会に公表することとしています。

## 調査研究

### ○韓国におけるNICの設置の可能性に関する講演会を開催

外国における学業資格の認定を行う国内情報センター（National Information Center: NIC）の設置は、ユネスコのイニシアチブもあいまってアジア太平洋諸国の数カ国において懸案となっています。機構では、そのような国々のひとつである韓国におけるNICの設置に関して、政策と研究の両側面から実情を把握し意見交換をするために、韓国における当該政策研究のチームを主導している高長完・成均館大学准教授を招聘し、講演会を開催しました。この講演会は、機構内外からの参加者を得て平成26年12月17日に開催されたものです。当日は、韓国における外国の高等教育資格の認証の歴史から、これまでの研究の蓄積、高長完准教授が主導した韓国のNICの要否および可能性に関する研究の内容が紹介され、研究チームが「現実策」として新たな機関の設置はせず、現有の高等教育関係の機関を改組してNICの機能を持たせることを提言していることが説明されました。その後、やはり高等教育機関を対象にNICの要否に関する調査を遂行してきた機構の教職員を含む参加者との間で質疑応答がもたれ、両国におけるNICに関する課題の類似点と相違点について議論を深めました。

この講演会の内容は近日中に報告書として機構より出版される予定です。



講演会の様子

## 質保証連携

### 質保証人材育成

#### ○「EAワークショップ『指標の選び方&指標信頼性・妥当性のチェックリスト』」を開催

当機構は、1月29日（木）に「EAワークショップ『指標の選び方&指標信頼性・妥当性のチェックリスト』」を、竹橋オフィスにて開催しました。

本ワークショップは、当機構のEA（Evaluability Assessment）研究会で開発している教材及びコンテンツを基に、現在取組んでいる質保証連携事業の一環として実施したもので、計画立案段階で現行の課題や問題を可能な限り把握し、適切な指標等の設定を行うための視点の提供を目的としています。

当日は、午前、当機構の武市研究開発部長より開会の挨拶が行われた後、田中研究開発部教授よりEA教材の紹介と使い方等について説明がありました。その後、浅野研究開発部准教授より演習課題及び演習の進め方の説明があった後、参加者を5つのグループに分けて、演習課題及びEA教材を用いた演習が行われました（右写真：EA教材の説明を行う田中研究開発部教授）。



午後からは、午前の演習結果の発表が各グループから行われた後、渋井研究開発部客員准教授より指標設定における信頼性・妥当性についての説明、及びチェックリストの紹介があり、それらについてグループ討議が行われました。

今回のワークショップでは、従来のEA教材を用いて指標を選定したうえで、選定された指標の信頼性や妥当性を確認するためのチェックリストを紹介し、その使い方についても議論していただく構成とする、新たな試みでした。また、今回、初めてご参加いただく方、私立大学からご参加いただく方も多く、役職や属性の類似する大学の方々に編成したグループに研究会メンバーをファシリテータとして配置するなどして、設置形態の違いを超えて各グループ内では活発にご議論いただきました。さらに、演習やグループ討議の結果の発表を通じて、各グループにおける議論の内容を参加者間で共有いただき、盛会のうちにワークショップを終えることができました。

なお、当日の配布資料及び参加者アンケートの結果については、以下のウェブページよりご覧いただけます。

[http://www.niad.ac.jp/n\\_kenkyukai/1259551\\_1207.html](http://www.niad.ac.jp/n_kenkyukai/1259551_1207.html)

加えて、これまで開催したワークショップ（研修会）に関しては、以下のウェブページをご参照願います。昨年度の研修会では、特にステップ3に関する講義及び演習を、一昨年度の研修会では、ステップ1、ステップ2の講義及び演習を重点的に行っております。

[http://www.niad.ac.jp/n\\_kenkyukai/1212851\\_1207.html](http://www.niad.ac.jp/n_kenkyukai/1212851_1207.html)

[http://www.niad.ac.jp/n\\_kenkyukai/1231951\\_1207.html](http://www.niad.ac.jp/n_kenkyukai/1231951_1207.html)



演習の状況

### 諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○中国「食品安全法及び教育法」研究会（全国人民代表大会常務委員会法制工作委员会）が来訪

2015年1月9日（金）に、中国より、「食品安全法及び教育法」研究会（全国人民代表大会常務委員会法制工作委员会）メンバー12名が、国際協力機構（JICA）の同行者とともに当機構を訪問しました。

今回の機構訪問は、JICAの招へいプロジェクトの一環として、中国の立法担当者に対して、教育法改正作業の参考となる知見を提供するため行われたものであり、当機構評価事業部国際課の秦課長より日本における高等教育質保証の仕組みと当機構の事業の概略、評価支援課の平野課長より機関別認証評価と選択評価、また、評価企画課の小山田課長より国立大学法人評価についてそれぞれ説明を行いました。

機構からの説明の後、訪問者からは、機構の認証評価、国立大学法人評価の取組みや公立大学の評価等について質問があり、日本の高等教育の評価制度全般について、高い関心を持っていることがうかがえ、熱心な質疑応答が行われました。



参加者による集合写真

## OCHEA2015 年次総会および CIQG 年次会合に出席

米国高等教育アクリティテーション協議会（Council for Higher Education Accreditation: CHEA）が主催する年次総会および CHEA 国際質グループ（CHEA International Quality Group: CIQG）の年次会合が、2015 年 1 月 26 日～29 日に米国・ワシントン DC で開催され、当機構から 4 名の教職員が参加しました。

今年の CHEA 年次総会は「Change, Challenge, Accreditation」をメインテーマとしてセッションが展開されました。米国では近年、高等教育にかかる教育費の適正化（affordability）や学習成果の追求が大きな政策的論点となっていますが、それに対応した質保証システムの在り方はどのようなものか、既存のアクリティテーションに代わる新たな質保証のアプローチがあるのか、本総会でも熱心な議論が交わされました。また、現在連邦教育省が検討を進めている大学レーティング・システム（The College Rating System）の動向についても紹介されました。

CIQG は、CHEA が諸外国の高等教育関係機関と国際的な質保証の課題に取り組むため、2012 年 9 月に創設されたネットワークです。当機構も CIQG に加盟しています。

CIQG 年次会合では、「Quality Assurance: Whose Responsibility?」と題して、質保証にかかわる関係者の役割について、世界的動向や諸外国の事例を交えながらセッションが進行しました。世界的に、質保証システムへの政府の関与が強まっており、高等教育のマス化が進行している国においては質保証の普及を促すうえで有効である一方、質保証機関の意思決定は、政府の関与から独立したものでなければならないといった意見が出されました。また、世界各地域における質保証の地域的連携の動向や、営利高等教育が進む諸外国の事例なども紹介がありました。



会合の様子



## 機構の窓

### ○会議の開催状況

- 大学機関別認証評価委員会

第2回 平成27年1月19日(月) 14:00~17:00

議事

- (1) 評価結果(案)について
- (2) 平成27年度 部会の編成について
- (3) その他

- 高等専門学校機関別認証評価委員会

第2回 平成27年1月20日(火) 14:00~17:00

議事

- (1) 評価結果(案)について
- (2) 平成27年度 評価部会及び専門部会の体制等について
- (3) 第3サイクルに向けた基準改定について
- (4) その他

- 法科大学院認証評価委員会

第3回 平成27年1月28日(水) 15:00~17:30

議事

- (1) 評価報告書原案(本評価)について
- (2) 教育課程又は教員組織に係る重要な変更及び対応状況報告書の調査結果に対する評価結果への付記事項について
- (3) 平成27年度評価部会等の編成について
- (4) 平成27年度に実施する法科大学院評価基準について
- (5) 3巡目に実施する法科大学院評価基準について
- (6) その他

## 主要行事日程

### ○ Schedule

2月

日	行事名	担当課	関連ページ
13日	学位審査会（平成26年度第4回）	学位審査課	<a href="#">関連ページ</a>
25日	学位記伝達式・講評	学位審査課	

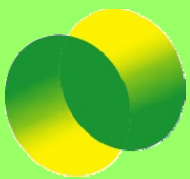
3月

日	行事名	担当課	関連ページ
9日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課	<a href="#">関連ページ</a>
10日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課	<a href="#">関連ページ</a>
13日	学位審査会（平成26年度第5回）	学位審査課	<a href="#">関連ページ</a>
13日～ 4月6日	平成27年度4月期 学位授与電子申請受付期間	学位審査課	
18日	法科大学院認証評価委員会（第4回）	評価支援課	<a href="#">関連ページ</a>
25日	大学ポートレート運営会議（第2回）	大学ポートレートセンター	
30日	国立大学教育研究評価委員会（第40回）	評価企画課	<a href="#">関連ページ</a>

4月

日	行事名	担当課	関連ページ
1日～ 7日	平成27年度4月期 学位授与郵送申請受付期間	学位審査課	





NIAD-UE

**独立行政法人大学評価・学位授与機構**